



くう...!?

異世界でも
彼女に俺はた
負けた...

主な登場人物



美山海斗(カイト=クロウリー)：男子バレー部に所属。都内屈指のエーススパイカーで『プリンス』の異名を持つが、莉央たち女子バレー部に負け続けている。
夜、眠りにつくと夢の世界でカイト=クロウリーという名の剣士に転生。王国主催の剣闘大会で勝ち進んでいる。



南沢莉央(リオ=シュバルツ)：全国レベルの強豪女子バレー部のエースで学業成績も優秀。
夢の世界ではリオ=シュバルツという名のエリート騎士に転生。女王直属のエリート女騎士団の若きホープとして認められる。



アリシャ=レイフォード：夢世界の王女。好奇心旺盛で、男の身でありながら剣闘大会で活躍するカイトに興味を抱く。



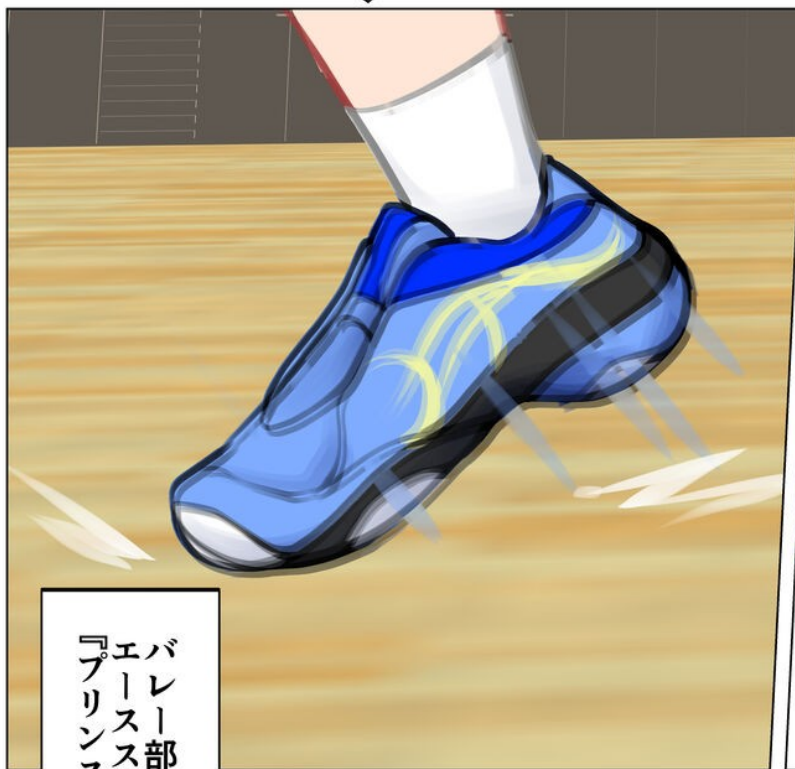
ハンナ=アーレント：女王直属のエリート女騎士団長。

「スマート」:
周囲の人間は
俺のことを
そのように評する

キョツ

キョツ

確かに
勉強もスポーツも
昔から得意な方だったし



はぁっ

はぁっ

バレー部では都内屈指の
エーススパイカーとして
『プリンス』と呼ばれている

負けるなく
男バレー!!

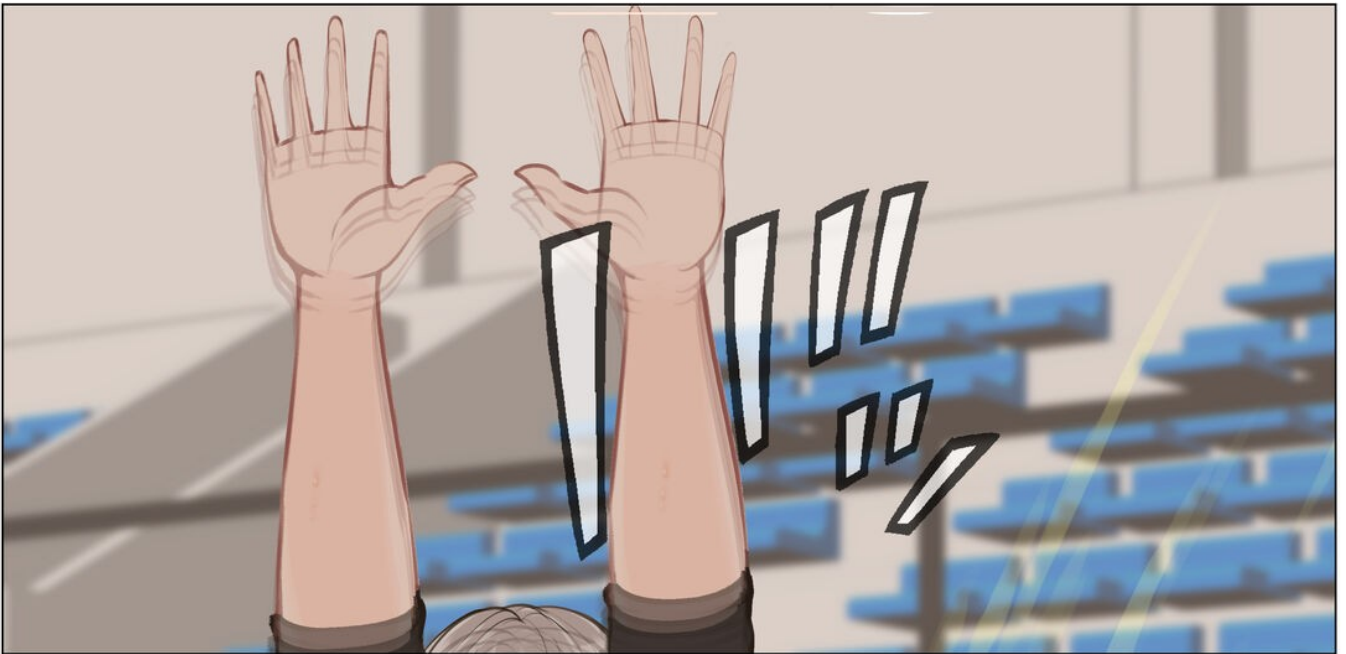
美山先輩
ファイト!





うおおっ！

しかし全てがそこそこで
突き抜けるものがない…



!!!

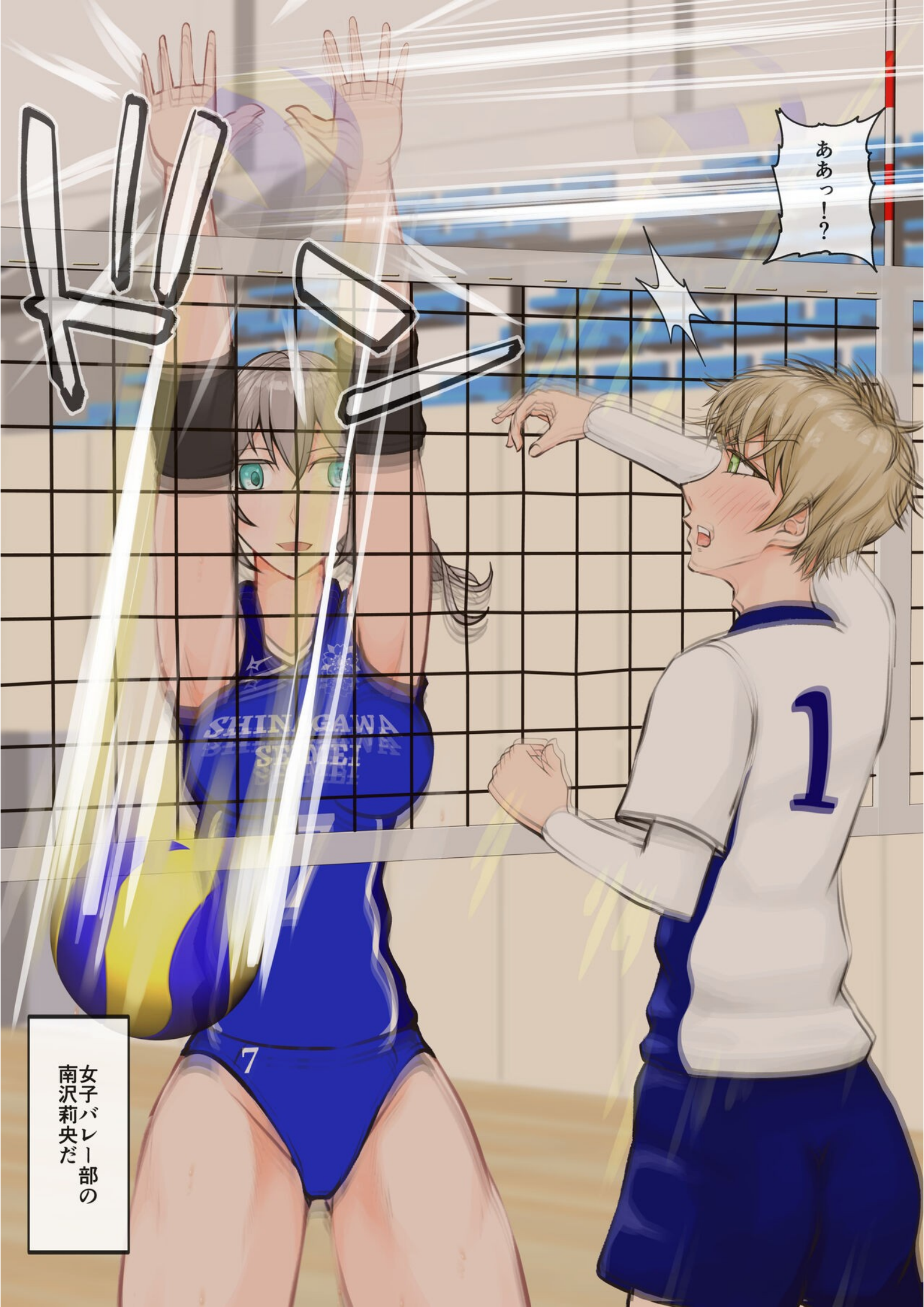


!?

そう俺に
教えたのが…

ああっ!?

女子バレー部の
南沢莉央だ



ピー

都ベスト8の男バレーがストリート負け!?

女子 25 - 21 男子 25 - 18

25

17

そっ...
そんな...

プリンスが負けちゃうなんて...

うん...

でも...仕方ないようちの女バレーって全国の常連だもん...

だよ...

美山先輩
可哀想...

はあ...

はあ...

これで
4度目...

また
うちの勝ちだね
美山くん

じゃあ…
今日はコートに
膝ついてもらおうかな

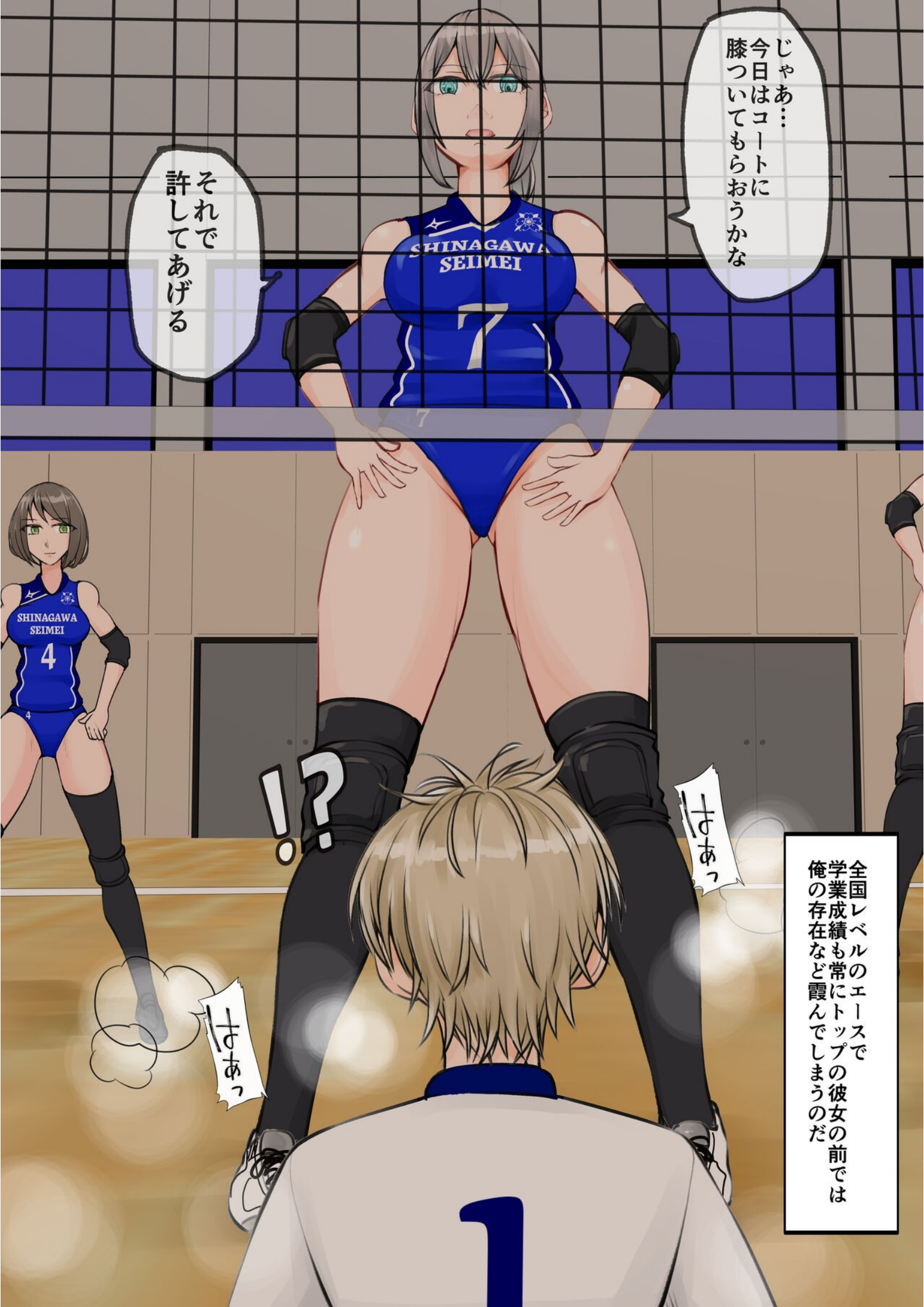
それで
許してあげる

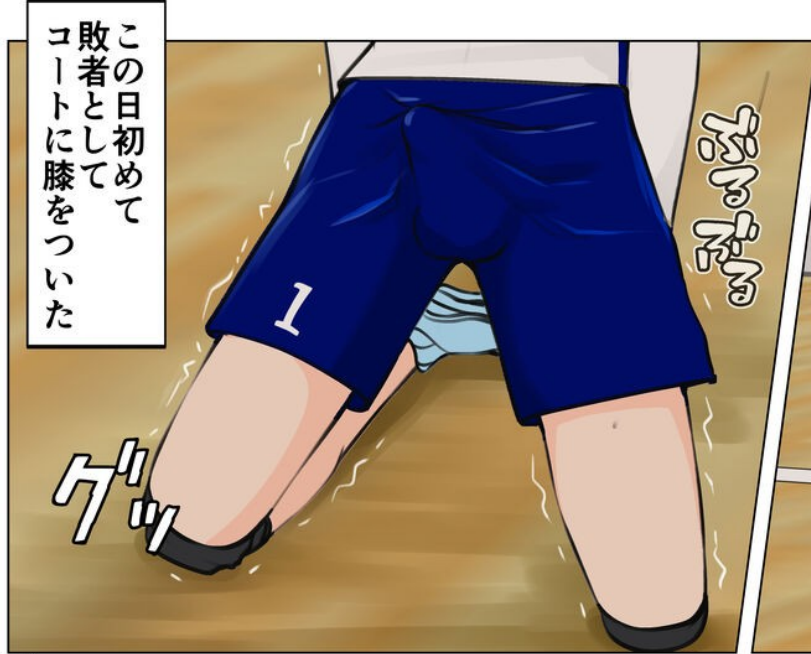
全国レベルのエースで
学業成績も常にトップの彼女の前では
俺の存在など霞んでしまうのだ

!?

はあっ

はあっ





この日初めて
敗者として
コートに膝をついた

だんだん



そして俺は…

くぅっ…!?



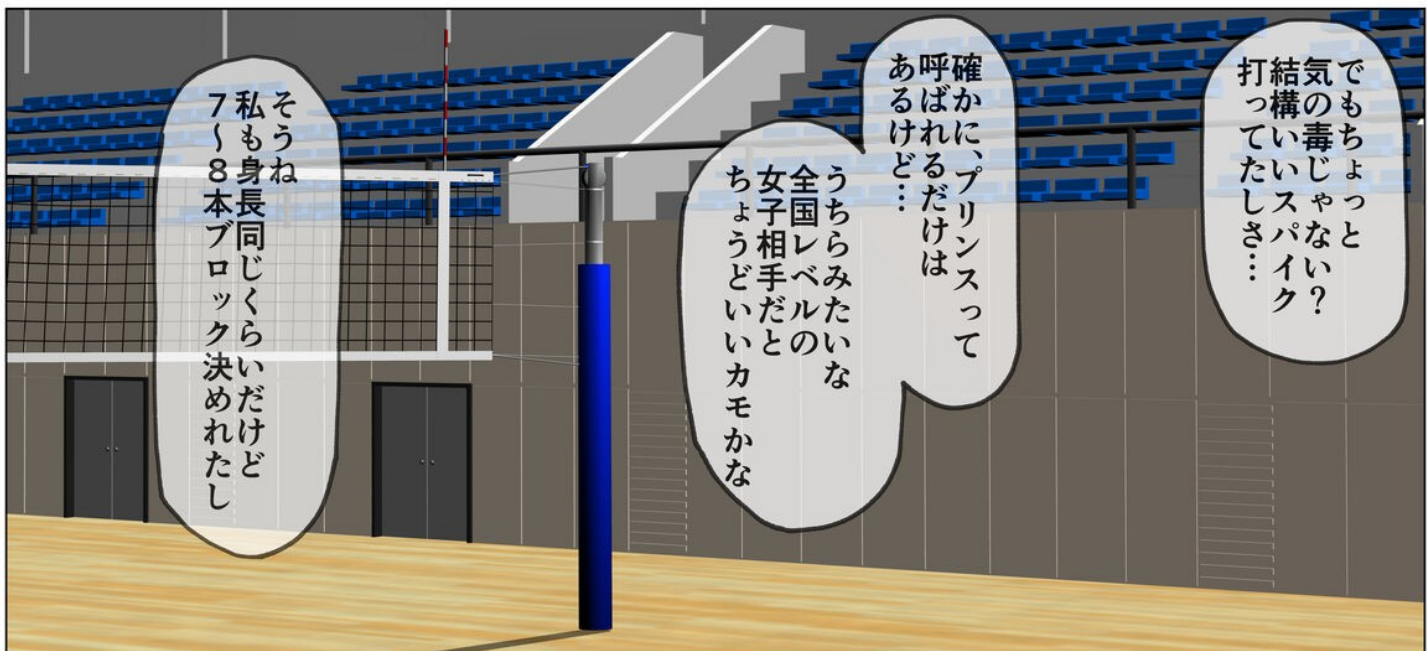
うん

イケメンエースを
跪かせるって…
なんか優越感あるよね

確かに…

さすがプリンス！
悔しがる姿も
絵になるよねっw

へえっ



そうね
私も身長同じくらいだけど
7本ブロック決められたし

うちらみみたいな
全国レベルの
女子相手だと
ちよっどいいカモかな

確かに、プリンスって
呼ばれるだけは
あるけど…

でもちよっど
気の毒じゃない？
結構たいスパイク
打ってたしさ…

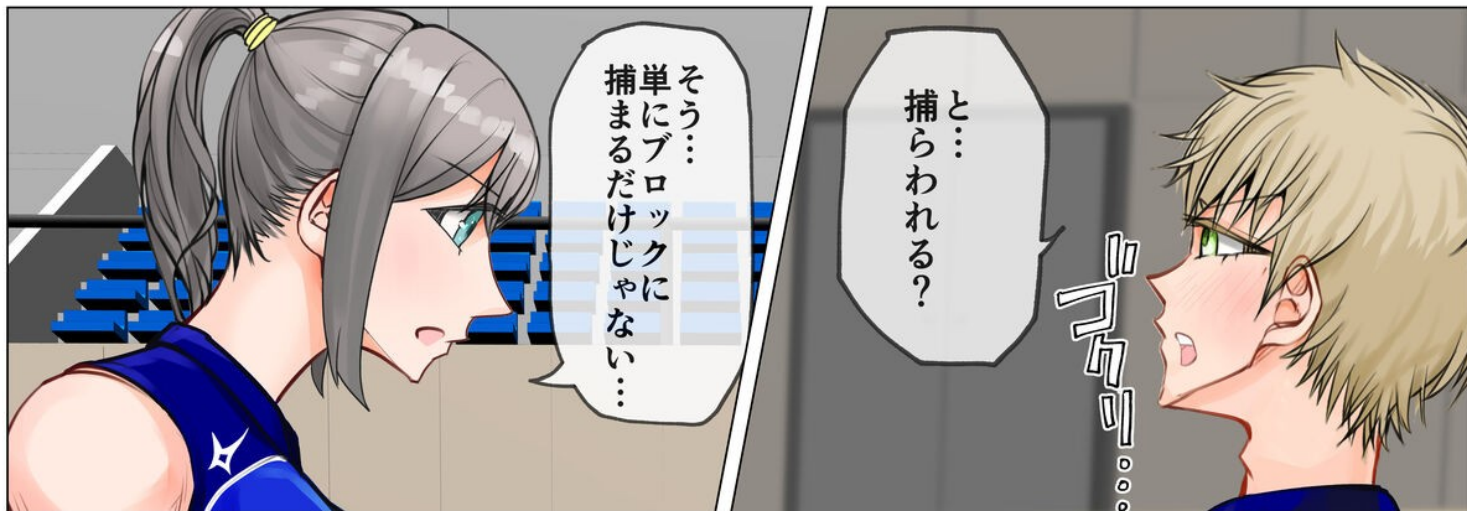


君みたいなのは
半端なエースは
彼女たちの高く
強い壁に…



くっ…
ああっ!!

捕らわれて
しまうから…



そう…
単にブロックに
捕まるだけじゃない…

と…
捕らわれる？

ゴゴゴ



全身を包み込まれる
ような感覚に
襲われてしまうの

特に男子選手はその感覚が
たまらなくなつて
2度とそこから
抜け出せなくなつてしまう…

!?



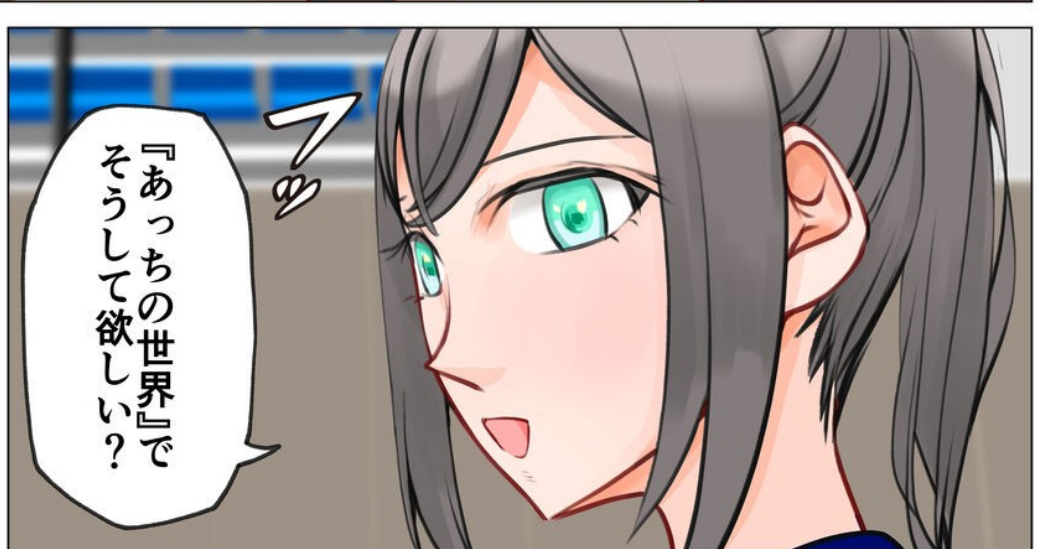
だから強豪女子の壁は
『男子エースの墓場』で
呼ばれているの

んむううっ

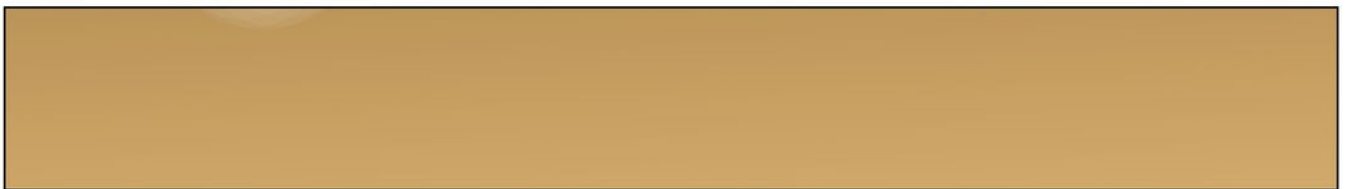
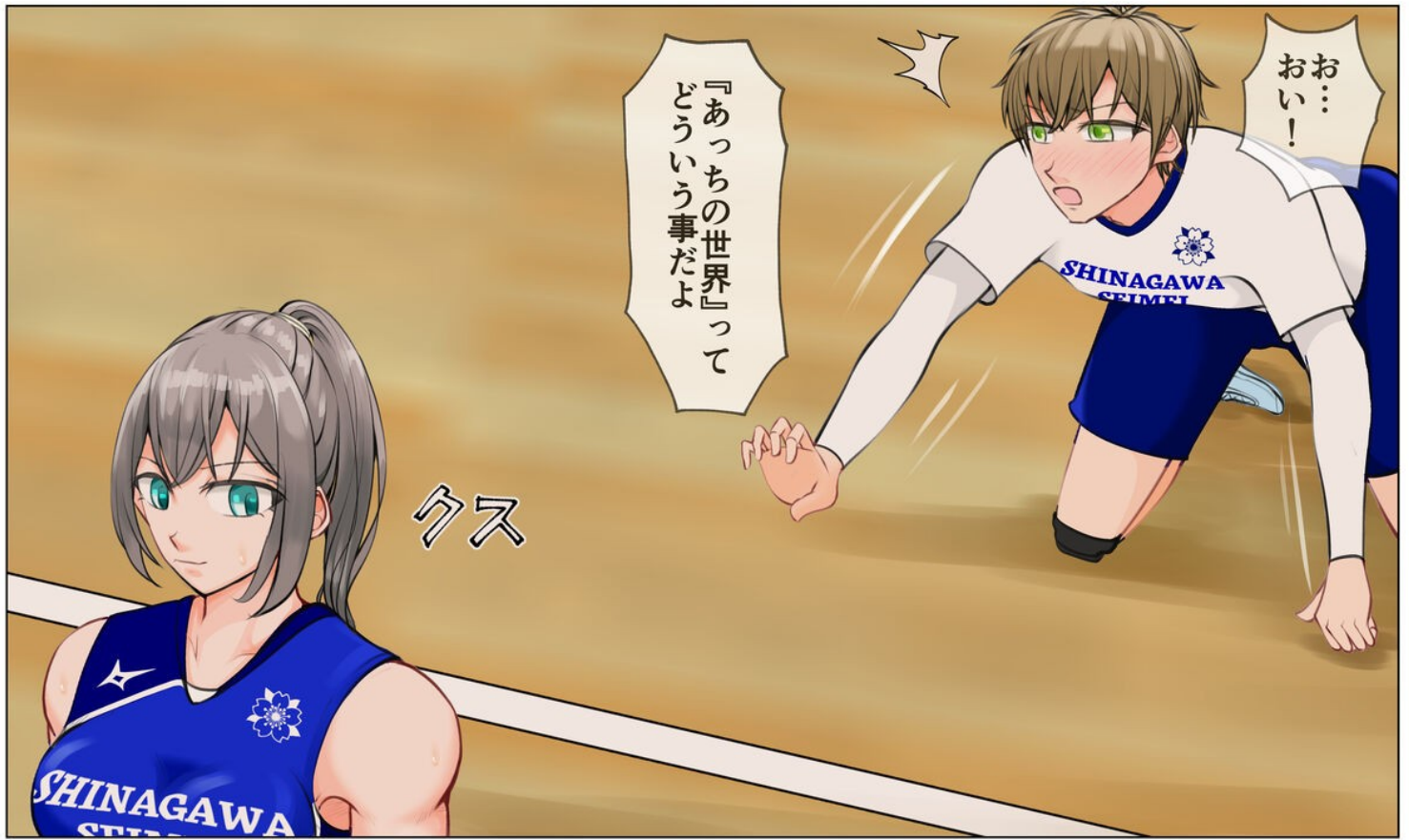


まあお望みとあれば
私はその壁になってあげても
いいけど…

それとも…



『あっちの世界』で
そうして欲しい？



『あつちの世界』…
それは夜、眠りにつくつと訪れる
夢の中の世界のことだ…

そこで俺は
1人の剣士に転生する



勝者・カイトリックロウリー!

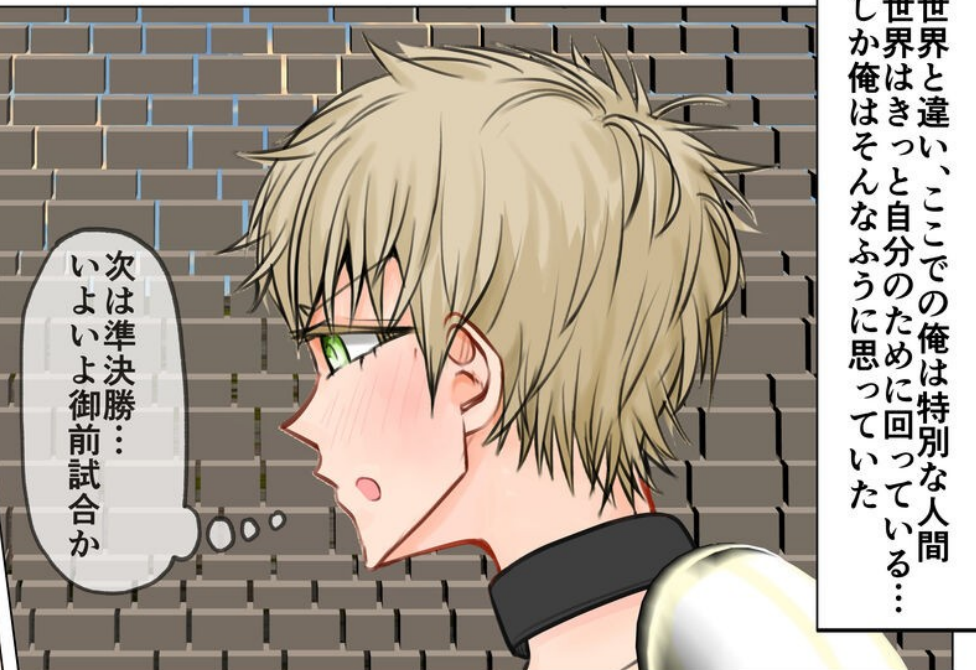
そして『剣聖』と呼ばれ
王国主催の剣闘大会で勝ち進んでいた



現実世界と違い、ここでの俺は特別な人間
この世界はきつと自分のために回っている…
いつしか俺はそんなふうになっていった

次は準決勝…
いよいよ御前試合か

みつ…
美山くん?





みっ…南沢!?

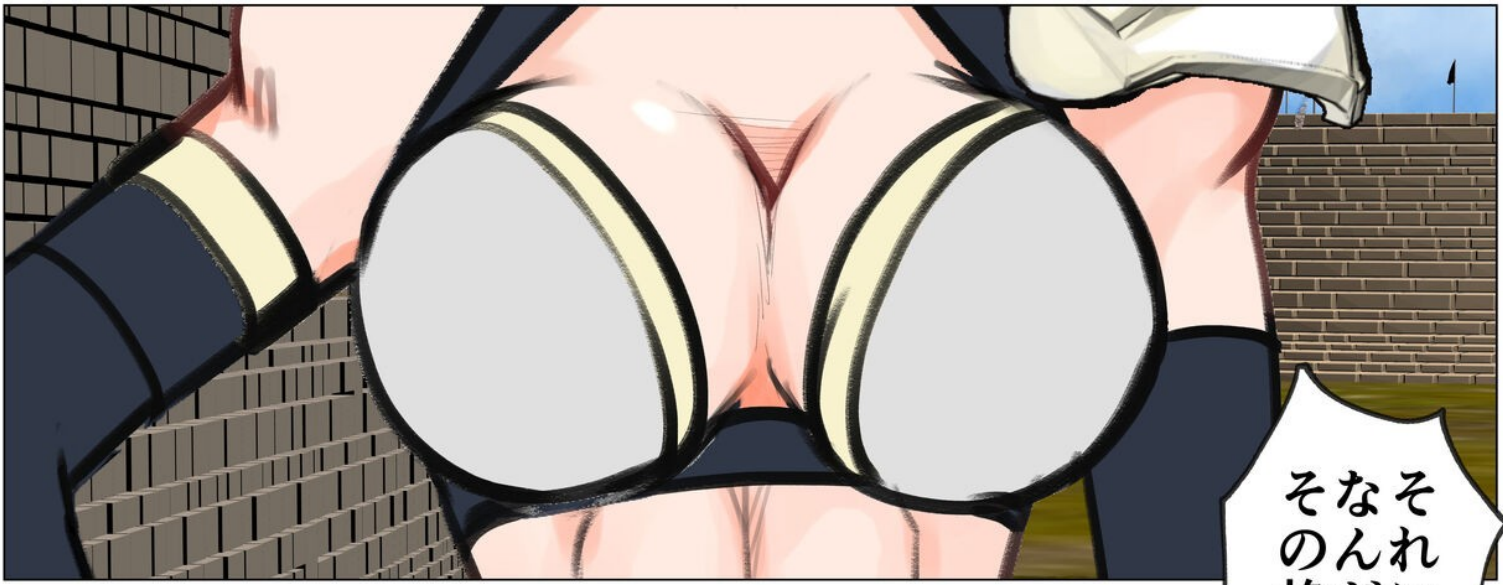
どうして!
ここに!?

そんな時
彼女が夢の世界に現れた



南沢
お前…!?

なんで
俺の夢に…



それに…
なんだよ
その格好?



こっ…
これは騎士団の鎧よ!
ジロジロ見ないでよ
エッチ!

君こそなんで
私の夢に
出てくんのよ!



前回の夢はそこで
終わった…

夢の世界の中で
現実世界の人間に出会ったのは
これが初めて…

俺が南沢のことを
強く意識してるから？

でも…試合後確かに
『あっちの世界』って…

『あっちの世界』で
そうして欲しい？

もしかして
南沢も…？

まさか…



準決勝は『剣聖』
カイト・クロウリー 対
『エリート女騎士』
リオリッシュバルツの対戦だ!!



やはり…



まさか君も私の世界に
転生してくるなんてね…
美山くん…



お前も
この世界に…



!?

じゃあ...

こっちでも
負け犬の烙印を
押しあげる

ク

ク

ク





男剣士とは
珍しいわね…

3年前の剣闘大会は
あなたの部下たち
ばかりでしたけど…

ねえ？
ハンナ…



面目次第もございません
アリシヤ様
毎回準決勝に勝ち残るのは
我が騎士団の若手のみなのですが…

今回は一般参加の
彼が勝ち上がって
しまいました

ふふ…
よいでは
ありませんか

剣闘大会とは名ばかりで
実は騎士団の力の誇示と
若手騎士のお披露目
があなたの狙いなので
しょうけど…



普段、男というものを
殆ど目にしない私にとって
このような展開の方が新鮮です

優秀な女騎士相手に
男がどの様な闘いを
見せてくれるのか
興味深いですね…

はい…
しかし私には姫様の
お目を汚すのではと
心配でございます

男という生物は
時に醜悪な痴態を
晒すので…

『痴態』ですか…

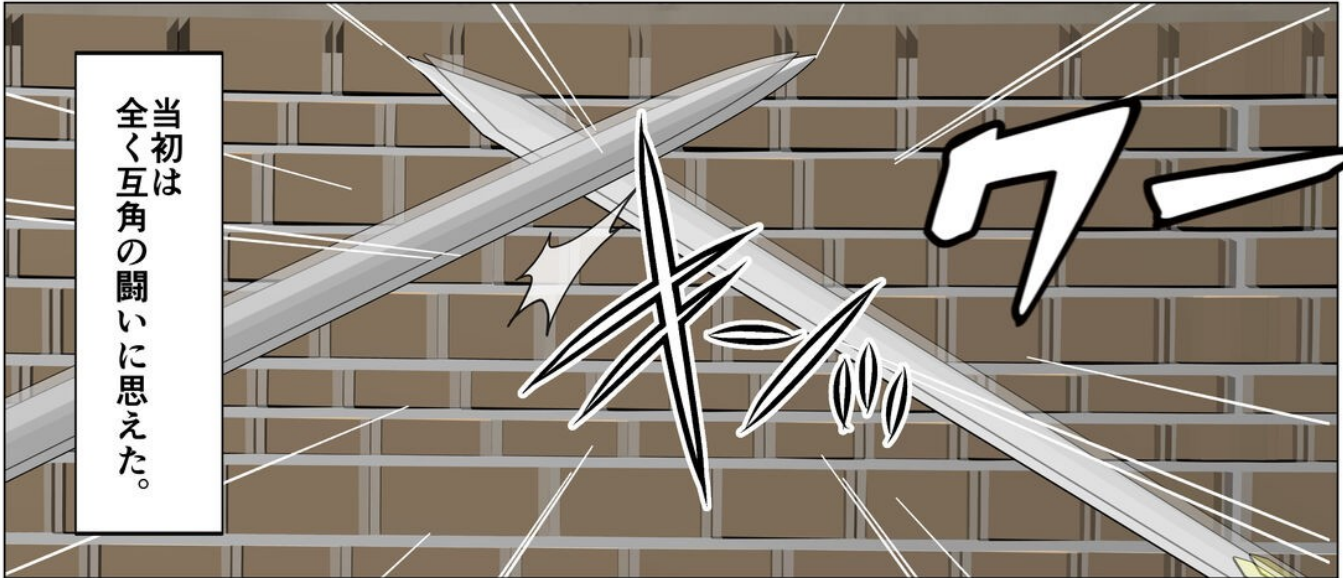
でしたら是非
見てみたいものでは
ないか…
男の痴態とは
如何様なものか…

姫様…
あまり私を
揶揄わないでください

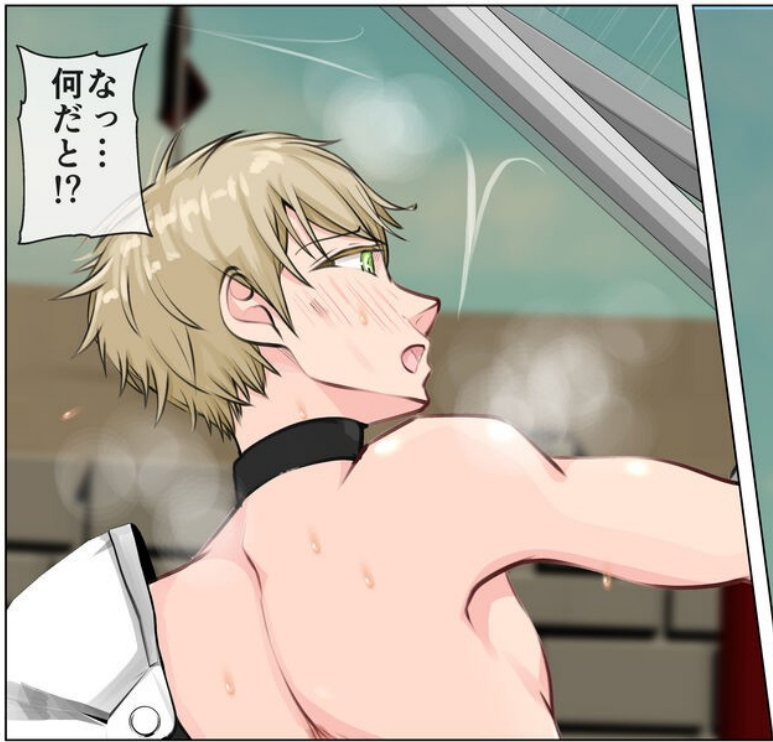
エリート女騎士団の
若きホープである
リオとの決闘は



剣聖と呼ばれた俺と



当初は
全く互角の闘いに思えた。



なっ…
何だと!?



しかし…

君の剣って
凄く軽いなだねw

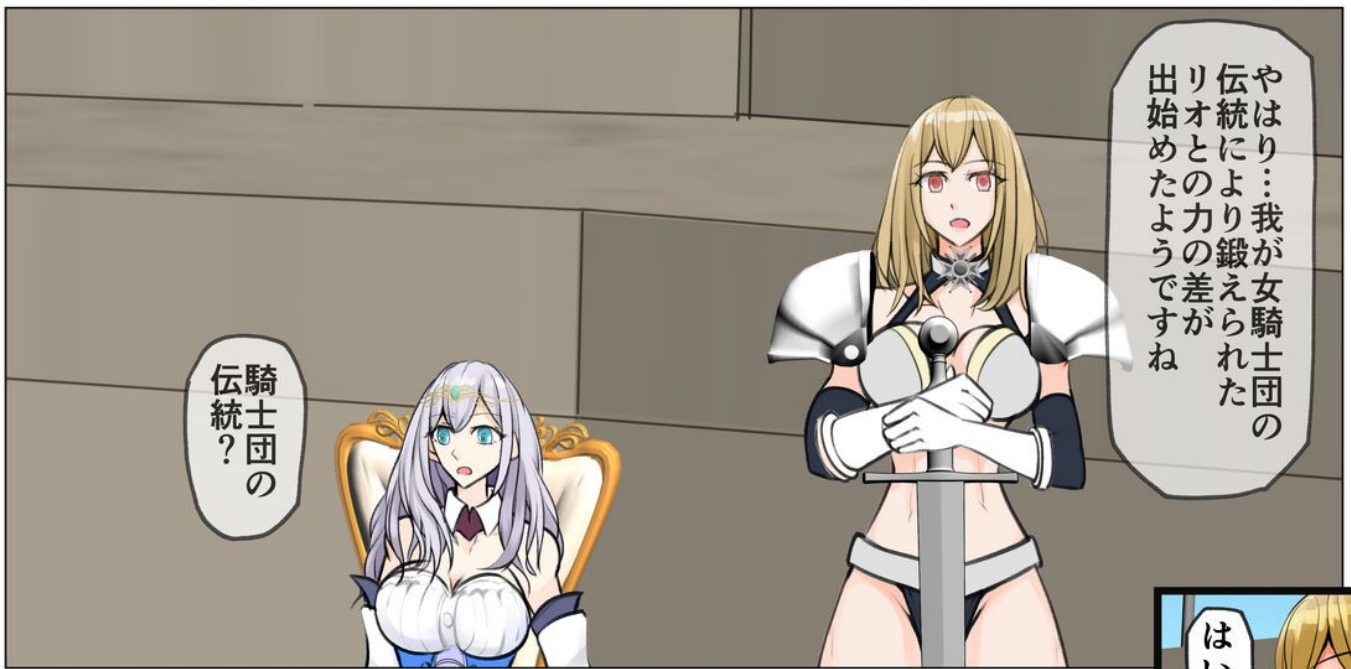
クス



ぐう...!?

私がちょっと
力を入れるだけで
ほらっ!

彼女の言葉通り
俺は徐々に力
で押し始め



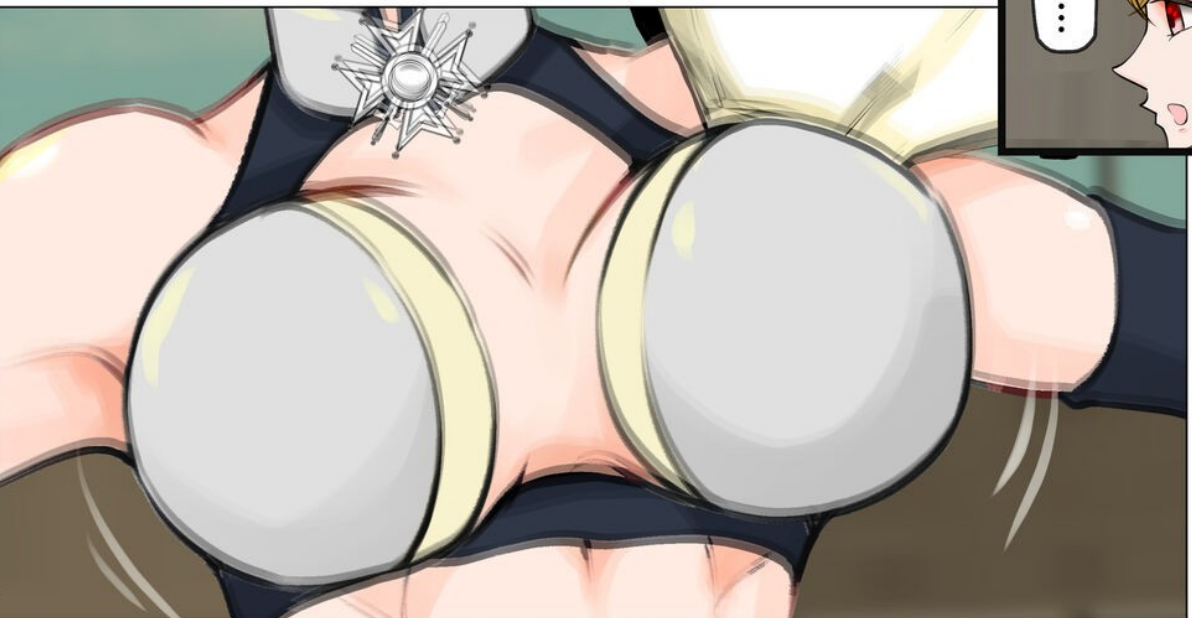
やはり：我が女騎士団の
伝統により鍛えられた
リオとの力の差が
出始めたようですね

騎士団の
伝統？



はい…

我が騎士団の剣術は
女性の能力を極限まで
引き出せる様に長い年月をかけて
練り上げられたもの…



しなやかで柔軟な筋肉
遅い腰回りを中心とした
粘り強い下半身…

これらの女性の持つ能力を
存分に駆使することで、男性剣士では
到底生み出せない『重み』を
剣に乗せることができるのです



2人のスピードと
技量はほぼ互角…



しかしあの男は、
女であるリオの肉体と
我が騎士団の歴史と伝統の前に
ひれ伏すのです

なんて重さだ…

くうっ…!?



じゃあ…
そろそろ
負け犬の刻印を…

ニヤリ



もう腕が…

プルプル

はっ



ぐああああ!!

刻んで
あげるわ!



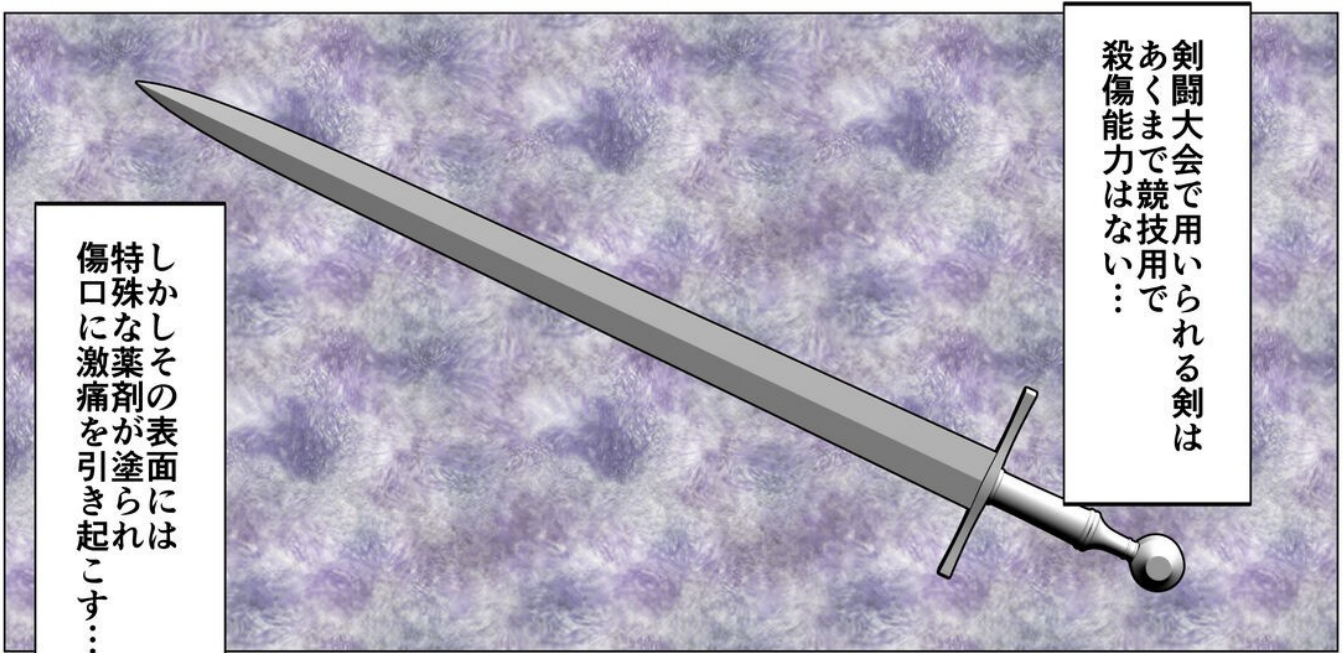
リオの鋭い斬撃が
カイトの胸を斬り裂いたあ！



ぐあああつ！！



ぐっ！！



剣闘大会で用いられる剣は
あくまで競技用で
殺傷能力はない…

しかしその表面には
特殊な薬剤が塗られ
傷口に激痛を引き起
こす…



W?

ガッ

そして何より...

肉体に斬り跡が
はつきりと刻まれる

ぐっ…!!?

一撃で決着のつく
実戦とは異なり…

敗者はまるで
鞭打たれた奴隷のようなる
惨めな姿を晒すことになる…

ああっ…!!?

うわあああ…!!?





男は女に劣っている
という屈辱的な状況に
欲情するのです…

くわあっ…
!?



たとえそれが
真剣勝負の
真つ只中でも…
全く…汚らわしい!



でも…何だ？
下半身のこの感じ…



くそっ…
くそっお…!?

セクッ

セクッ



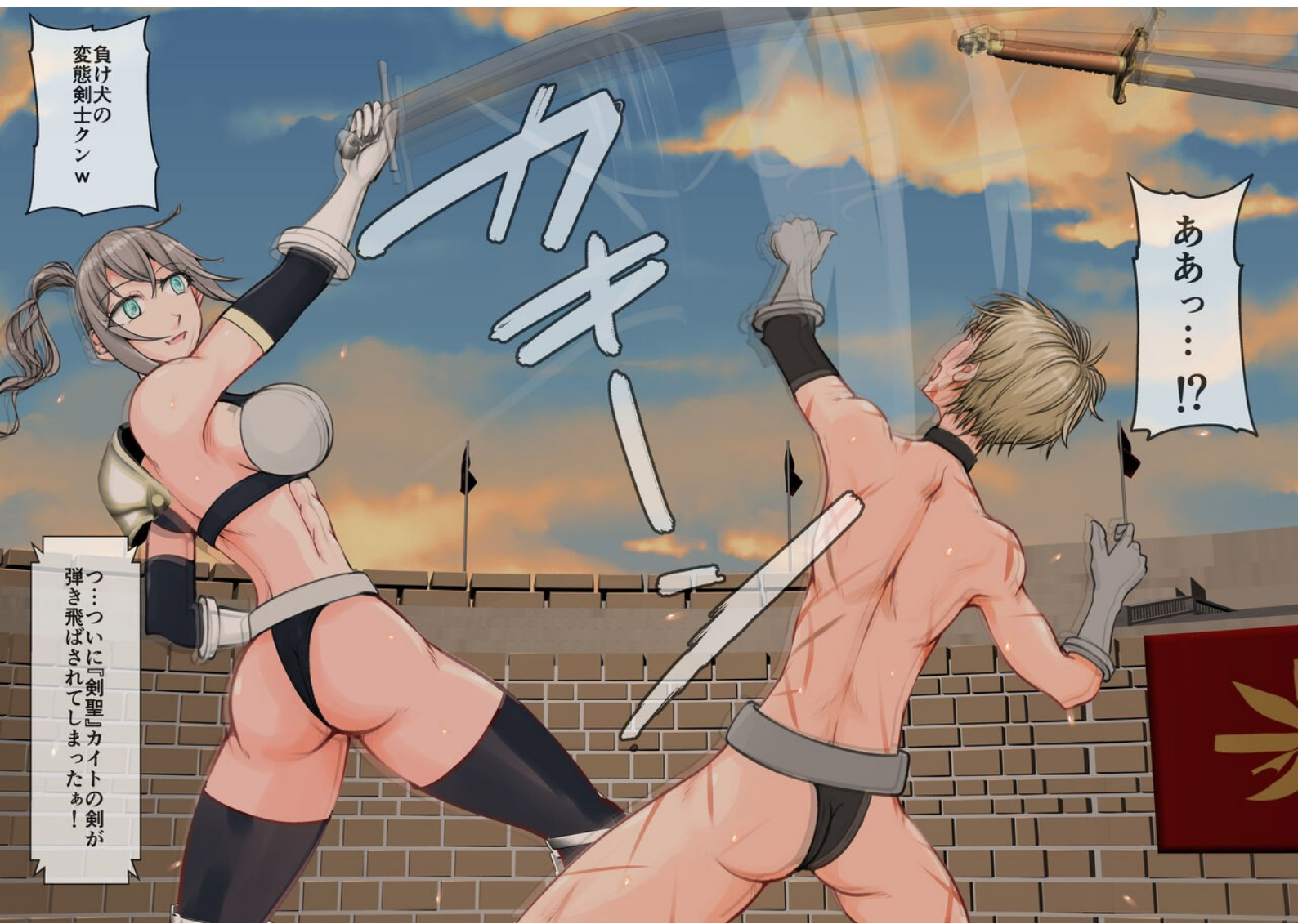
へえ、
そんな趣味
あったんだ…

もっとも…
この剣闘大会の最中に
君みたいになった男性剣士は
数知れずいるらしいけど…



やっぱり君は
私の強さを際立たせる
ためだけに
転生した存在ってことね…

この辺で
終わりにしてあげる



負け犬の
変態剣士クンw

ああっ…!!

つ…ついに『剣聖』カイトの剣が
弾き飛ばされてしまったあ!

30
30

私の世界でも
跪かされちゃったね…

リオリシユバルツ！
騎士団の未来を担う
新星の誕生です！

……

結局俺は、散々斬り刻まれた上に
一太刀も浴びせられず
無様に地面にひれ伏した

はぁっ

はぁっ

はぁっ

カ
ク
ク

ア

カ
ク
ク

ア





大変
お見苦しい闘いを
お見せ致しました…

このハンナ
姫様をお守りする
騎士団長として
お詫び申し上げます

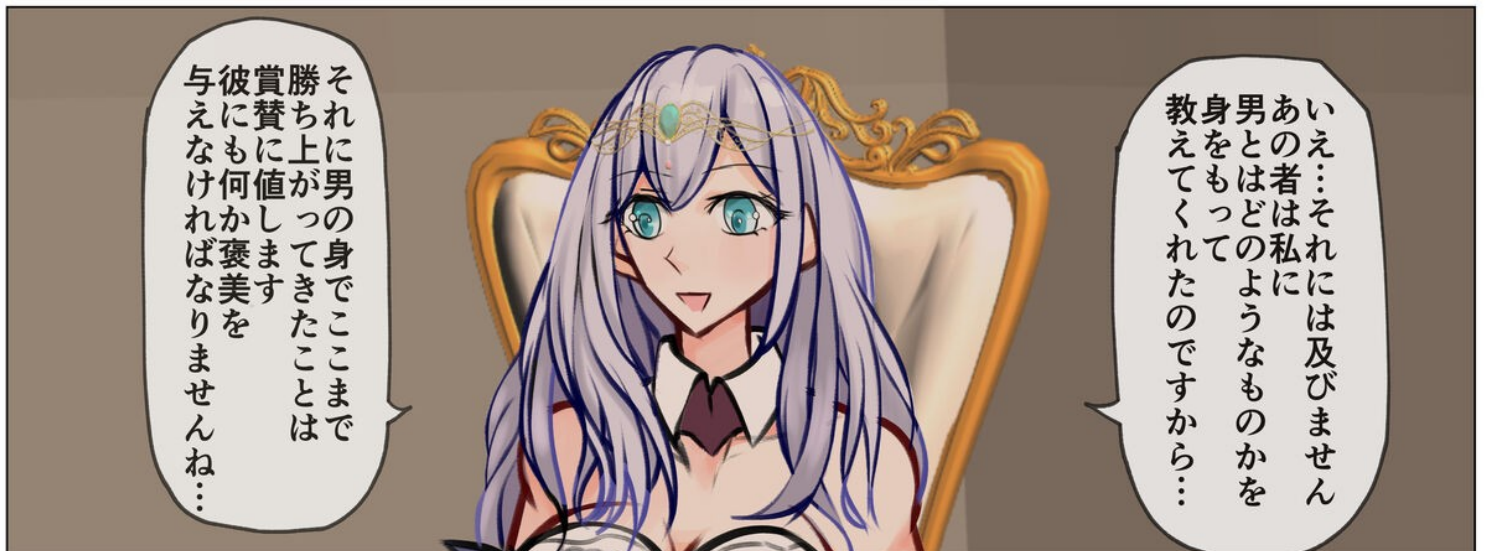
いえ、大変見応えのある
闘いでしたわ
騎士団の若き剣士の
成長も頼もしく思います

ありがたきお言葉…
しかしあの男が、姫様の
お目を汚したことは事実…



あの者のペニス
私の剣で切り落とし
市中引き回しの刑に
いたします

いえ…それには及びません
あの者は私に
男とはどのようなかを
身をもって
教えてくれたのですから…



それに男の身でここまで
勝ち上がってきたことは
賞賛に値します
彼にも何か褒美を
与えなければなりませんね…

試合中に陰茎を膨らませた俺は
全裸に剥かれた状態で
女騎士団の鍛錬場に連行された

姫様の前で
股間の布を
膨らませるとは
不届なやつ…

本来ならここで
お前のペニスを
切断するところだが



姫様は
寛大なお方…

むしろお前に
ご褒美を
下さるそうだ

えっ…!
!?

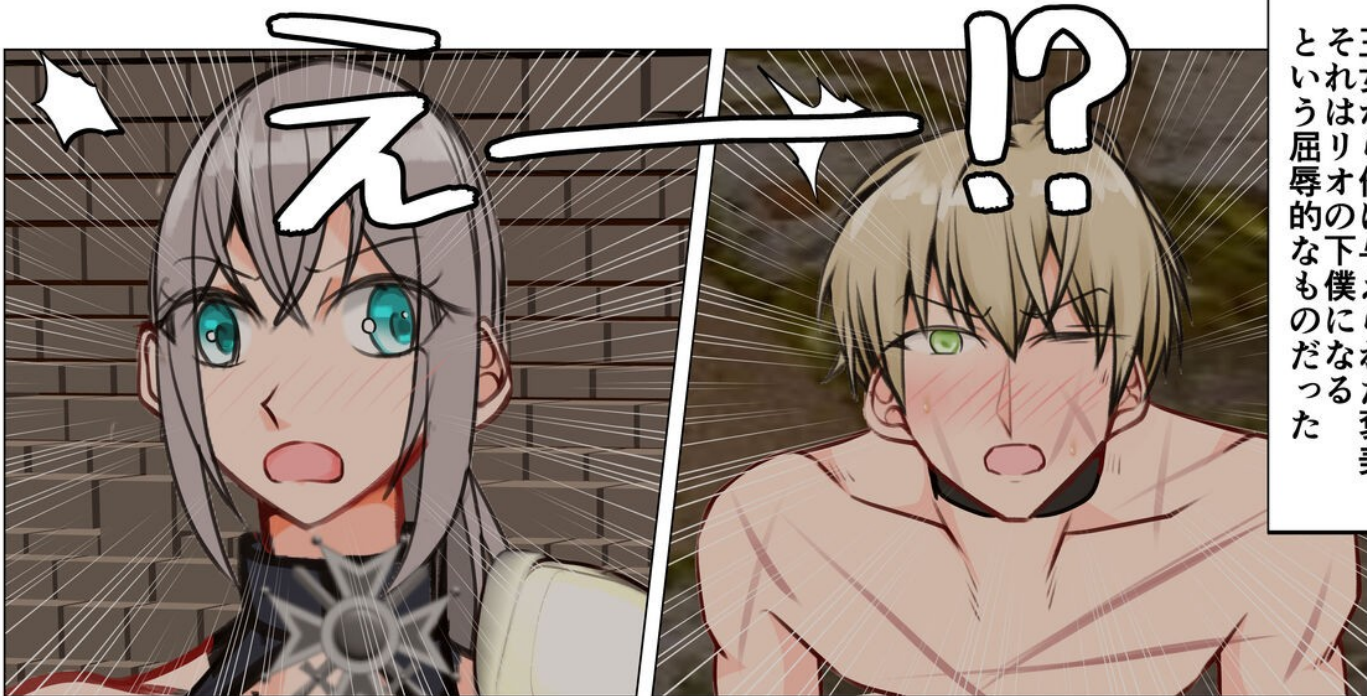


今日から
貴様は…

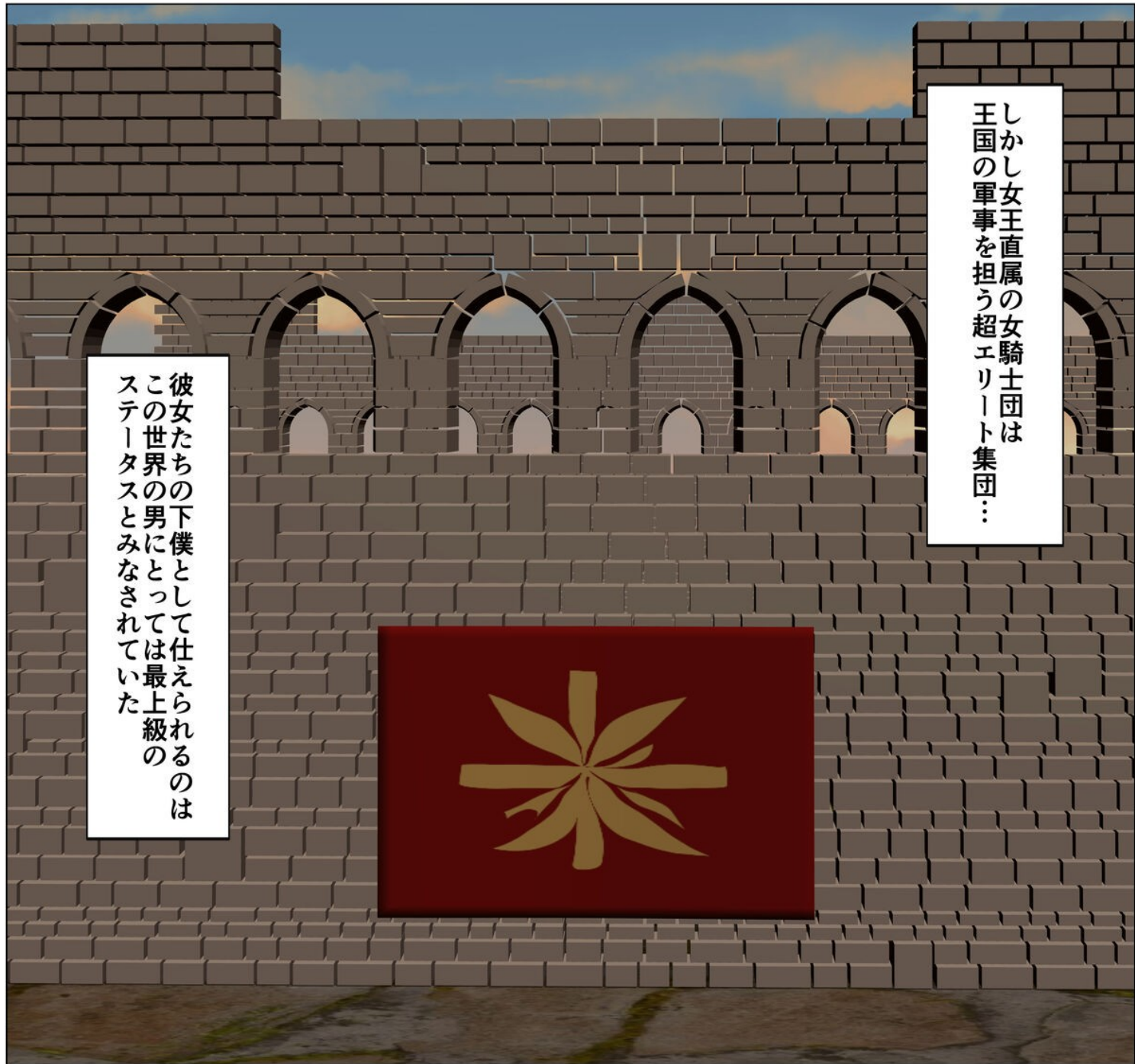
リオ||シユバルツの
忠実な下僕として生きる
名誉を与えられた!
リオに忠誠を誓い
身も心も捧げるがいい!

!?





王女から俺に与えられた褒美…
それはリオの下僕になる
という屈辱的なものだった



しかし女王直属の女騎士団は
王国の軍事を担う超エリート集団…

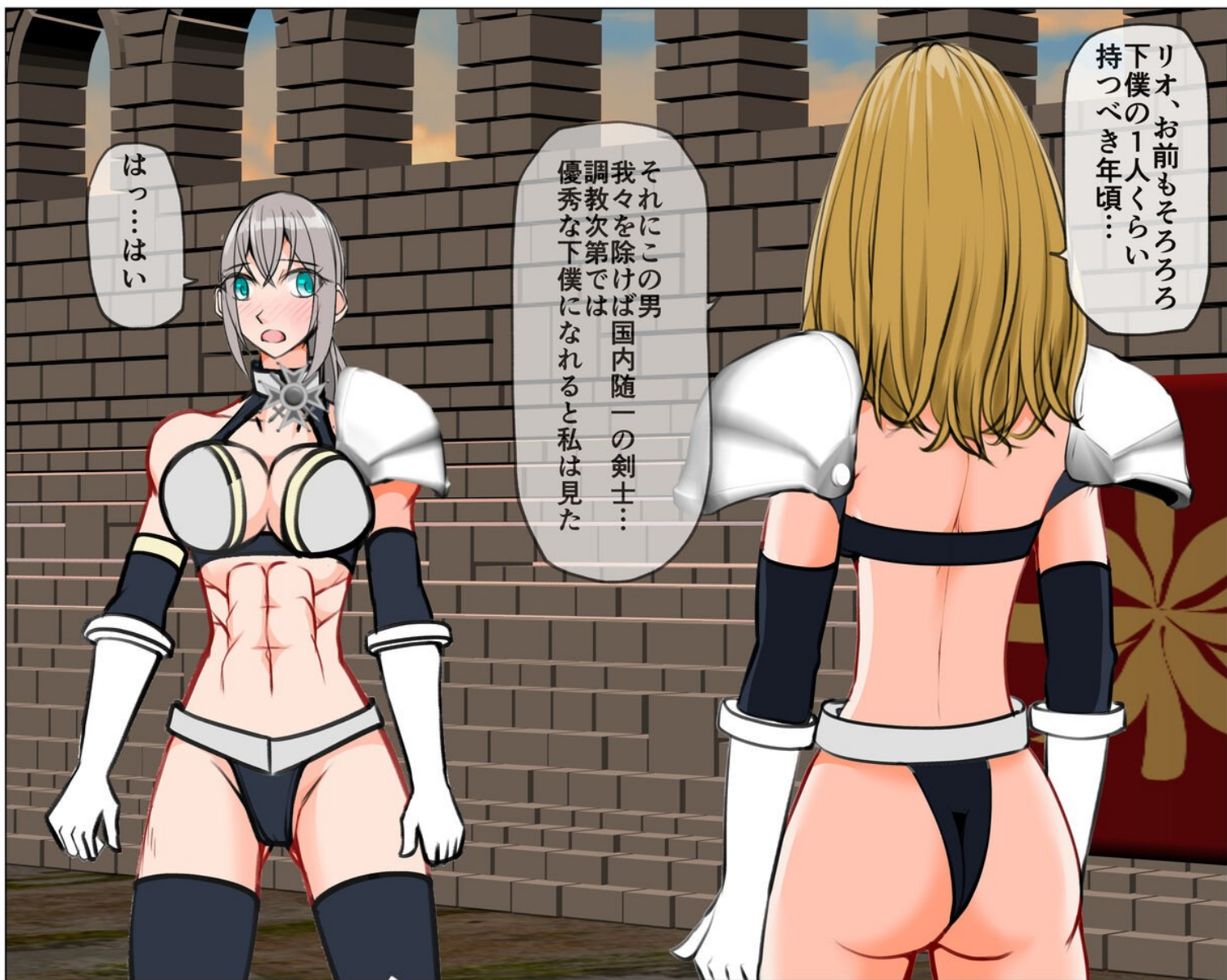
彼女たちの下僕として仕えられるのは
この世界の男にとっては最上級の
ステータスとみなされていた



ひよっとして
ハンナ团长…

あの儀式を？

ドキ
ドキ



リオ、お前もそろそろ
下僕の1人くらい
持つべき年頃…

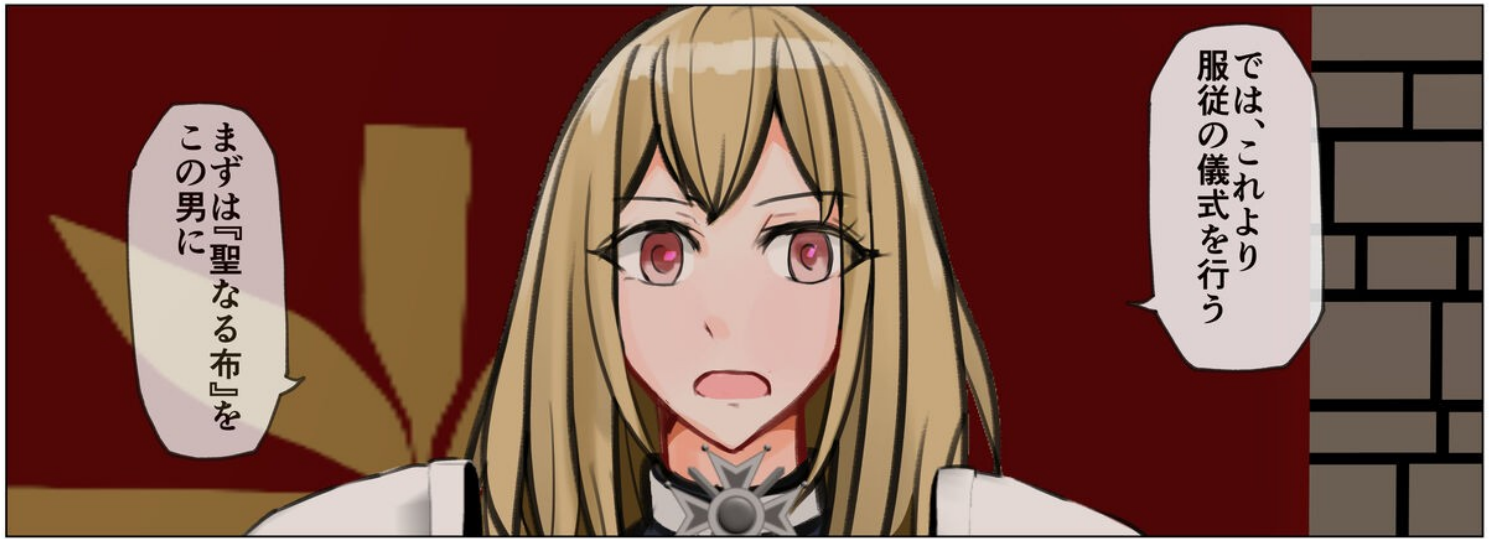
それにこの男
我々を除けば国内随一の剣士…
調教次第では
優秀な下僕になれると私は見た

はっ…はい



わ…わかりました
この男を
下僕として認め…

私の優秀な
手足となれるよう
しっかりと調教します



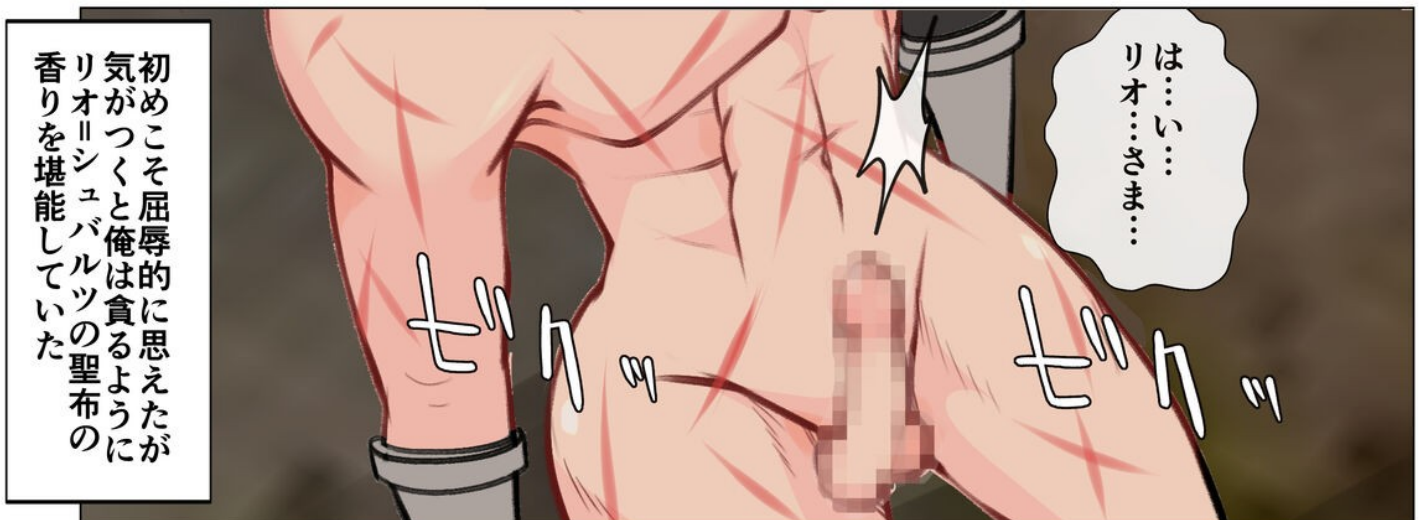
王国の守護神である彼女たちの
様々な体液が染み込んだこの布は
神聖なものであり

よく出来ましたね
では匂いを嗅ぐことを
許します

あっ
♡
♡
♡

んっ…♡

それを味わうことで
下僕たちは服従心と忠誠心を
高めていく…



そして…

次は
『清めの儀式』…
この男が身も心も下僕となり
お前にお仕えできるよう
聖水を与えなさい

はっ!

ほら!
口を開けなさい!

ひゃっ

ショホホ!

1滴も無駄にしてはダメよ
身体の間々まで
私の下僕になるためにね…

ほら…
こぼしちゃダメって
言ったでしょう！

シ
+

俺の中に
リオのエキスが注ぎ込まれた

がはあつ！



彼女の温かい体液を飲みながら
剣士としての自分が
徐々に死んでいくのを感じた

どう？
初めての
聖水のお味は？

ががっ…
がはあっ!?

はあっ

はあっ

はあっ

女騎士に敗れ聖水を飲まされた
事実は一生消えることのない
敗者の証だからだ

そして鎌首を天に
突き上げることで俺のペニスは
女騎士の支配を受け入れたことを示した



もっと上手に
飲めるように
調教していかないとね…

はっ
はっ

取り敢えず
私の大事な部分の平を
舐め取ってもらおうわ

はい：
リオ様：

もっと
優しく
丁寧に！

はい…

そう…

周りも
ちゃんと
舐めて！

はい！

うん…
まあまあ
かな…

それから俺は、リオの女性器を
延々と奉仕し続けた
そしていつしかその日の夢は
終わりを告げた

それから
2週間ほどが経った…

あれ以来、不思議と
夢の世界に転生することは
なくなった

だから
女騎士の下僕になった
あの世界の自分が
その後どうなったのか
俺には分からない

沙織!

キユツ

ファイブ
ファイ!

ラスト
集中して
行くよ!

そして
心にぽっかり空いた
喪失感だけが
俺の中に残っていた

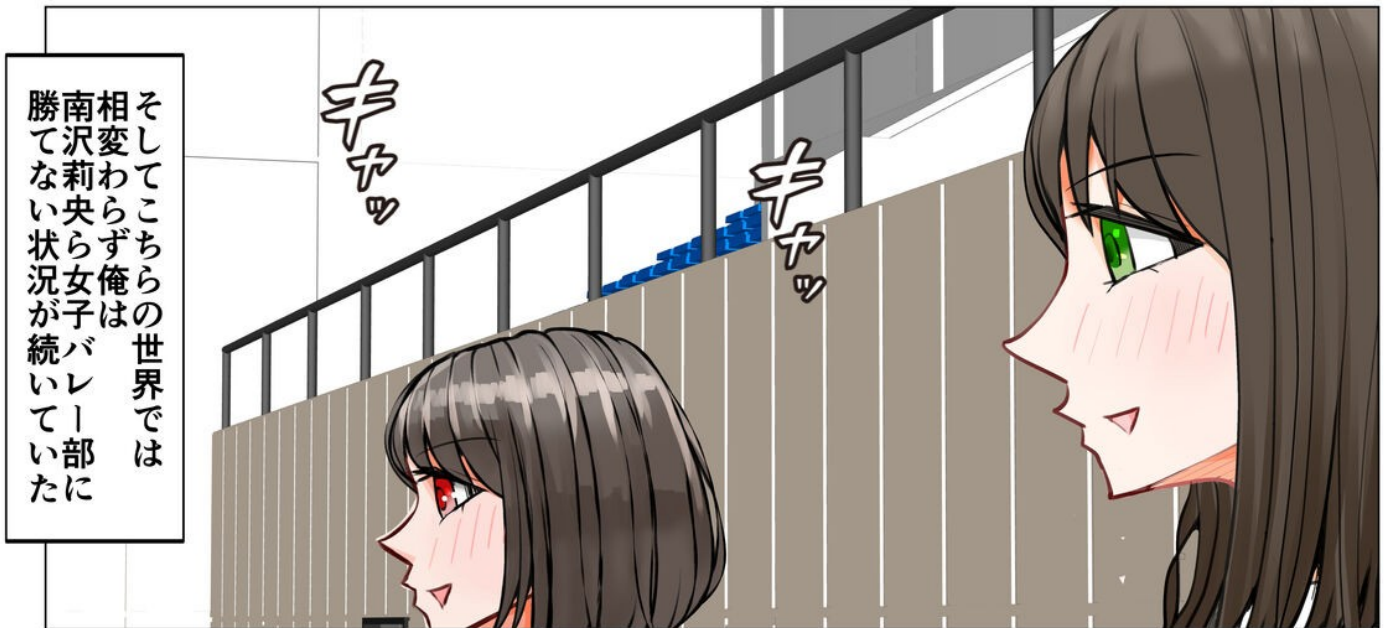
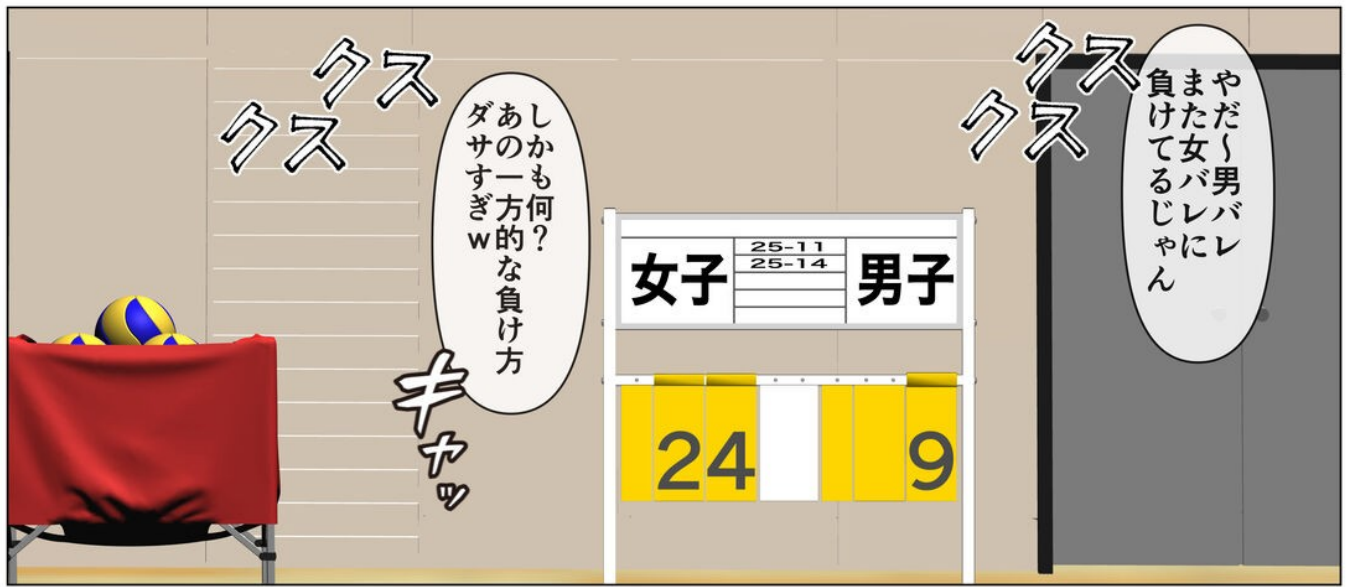
OK!

キユツ

キユツ

夢の中であんな事をした
南沢莉央とも
気まぐずくて目を合わせられない
日々が続いた





いや…状況は
悪化したとも言える

ラスト
決めるよ！

莉央！！

くっ…
!?

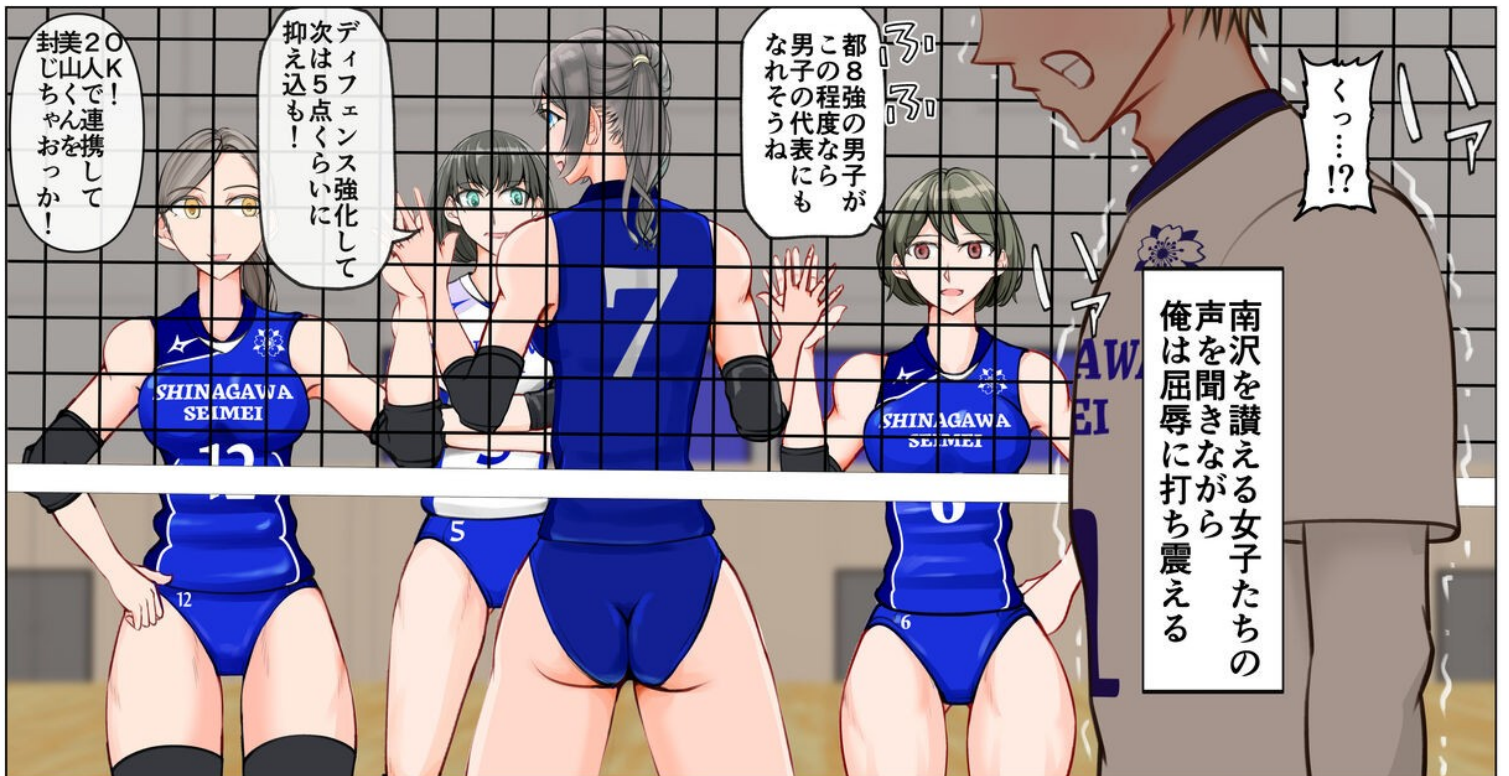
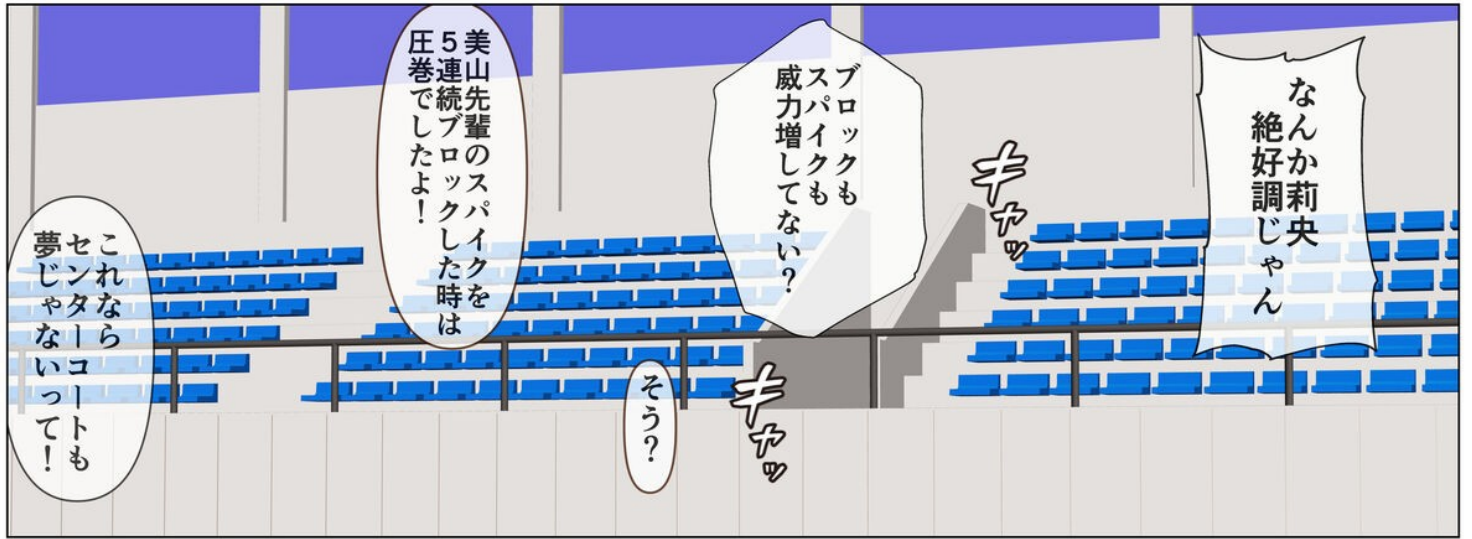
OK!!

あの儀式を経て
俺と南沢との実力差は更に広がり
絶望的なものになっていったからだ

高い……!

ナイスキー!!







えっ!?!
今、リオ様って…

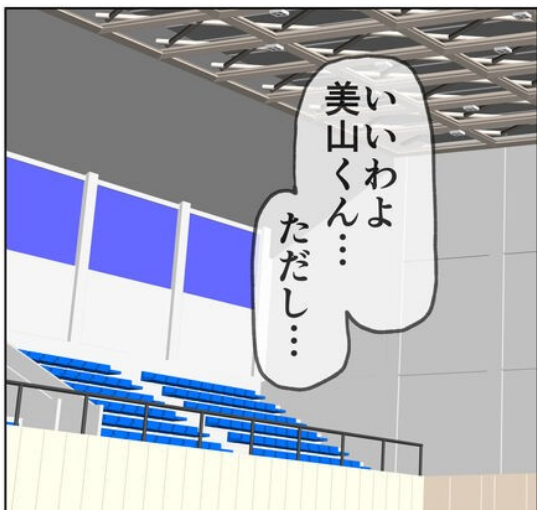
!?

僕ぼ…
僕を…



下僕に
して下さい…

僕を…



いいわよ
美山くん…
ただし…



…



きゃっ!
ちょ…ちよっと
美山君!
どうしたの?!?
莉央の下僕って!!?

クス

美山君にまさか
こんな趣味が
あったなんてね

ちよつと
幻滅かな…

イケメン
だけにね…

まあでも
人は見かけて
よらないって
いうしw

クス

クス

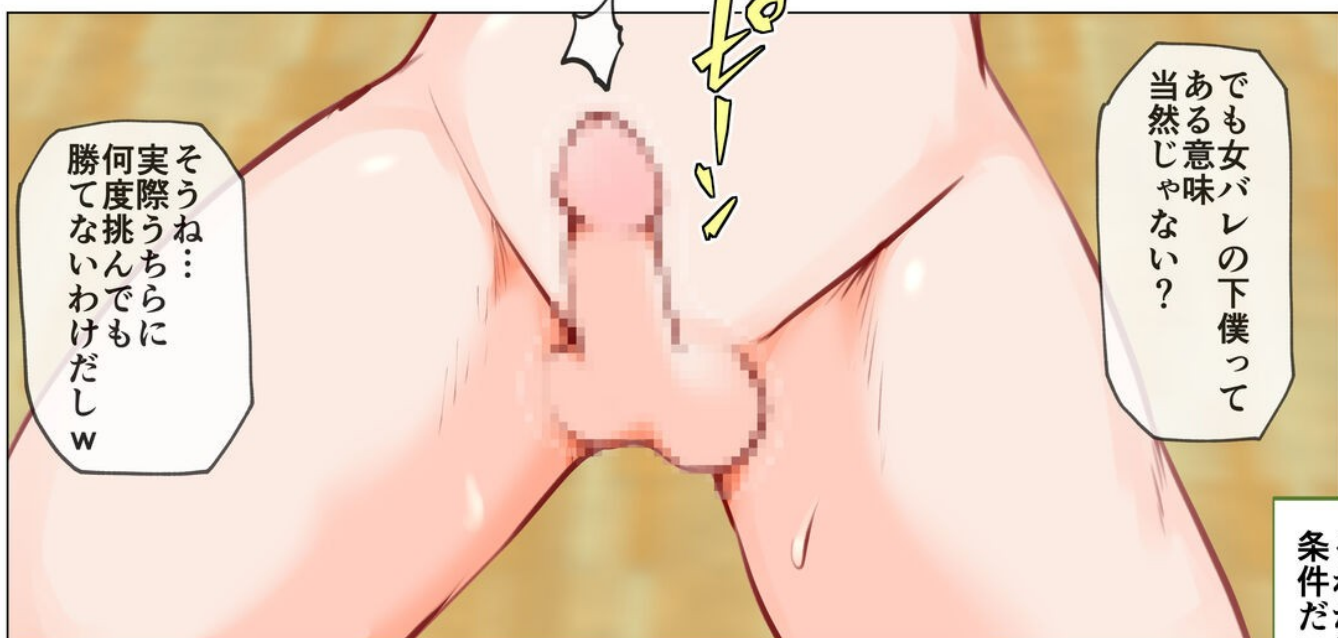
クス



でも女バレの下僕って
ある意味
当然じゃない？

そうね…
実際にちらに
何度挑んでも
勝てないわけだしw

ぞん



女子バレー部全員の
下僕…
それが彼女が俺に課した
条件だった…

そして女子部員たちの前で
ユニフォームを剥がされた俺に
服従の儀式が待っていた

くっ♡

くっ♡







クズ

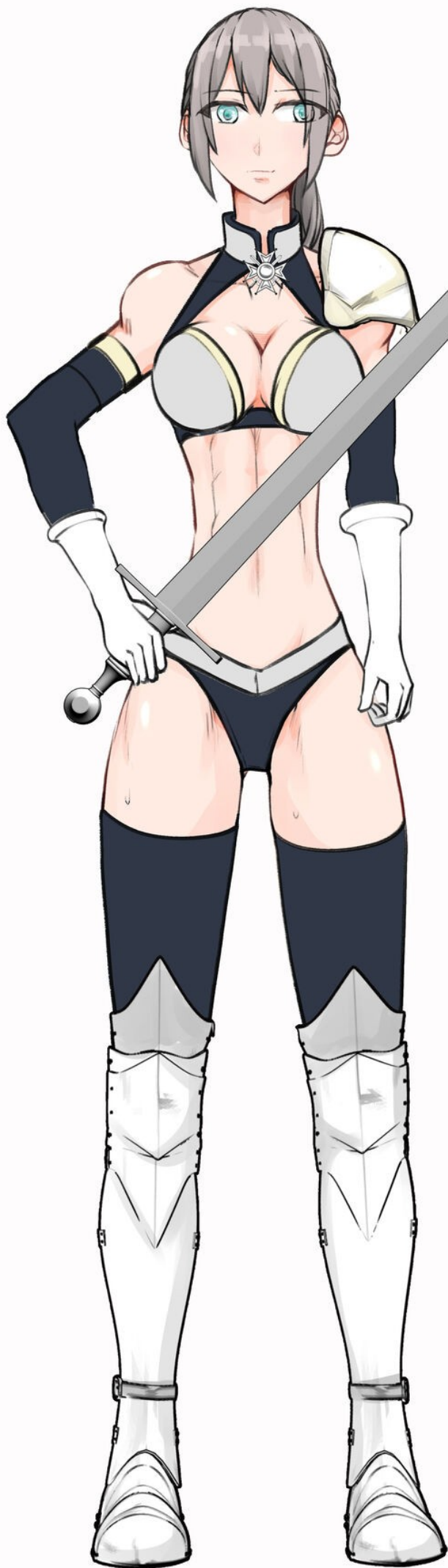
後で飲む方から
練習もするから♡

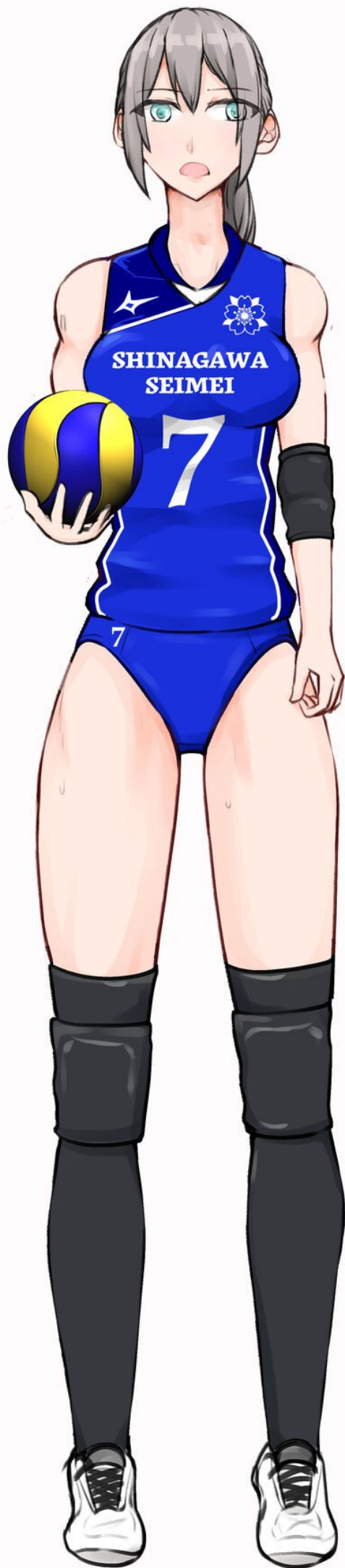
!?

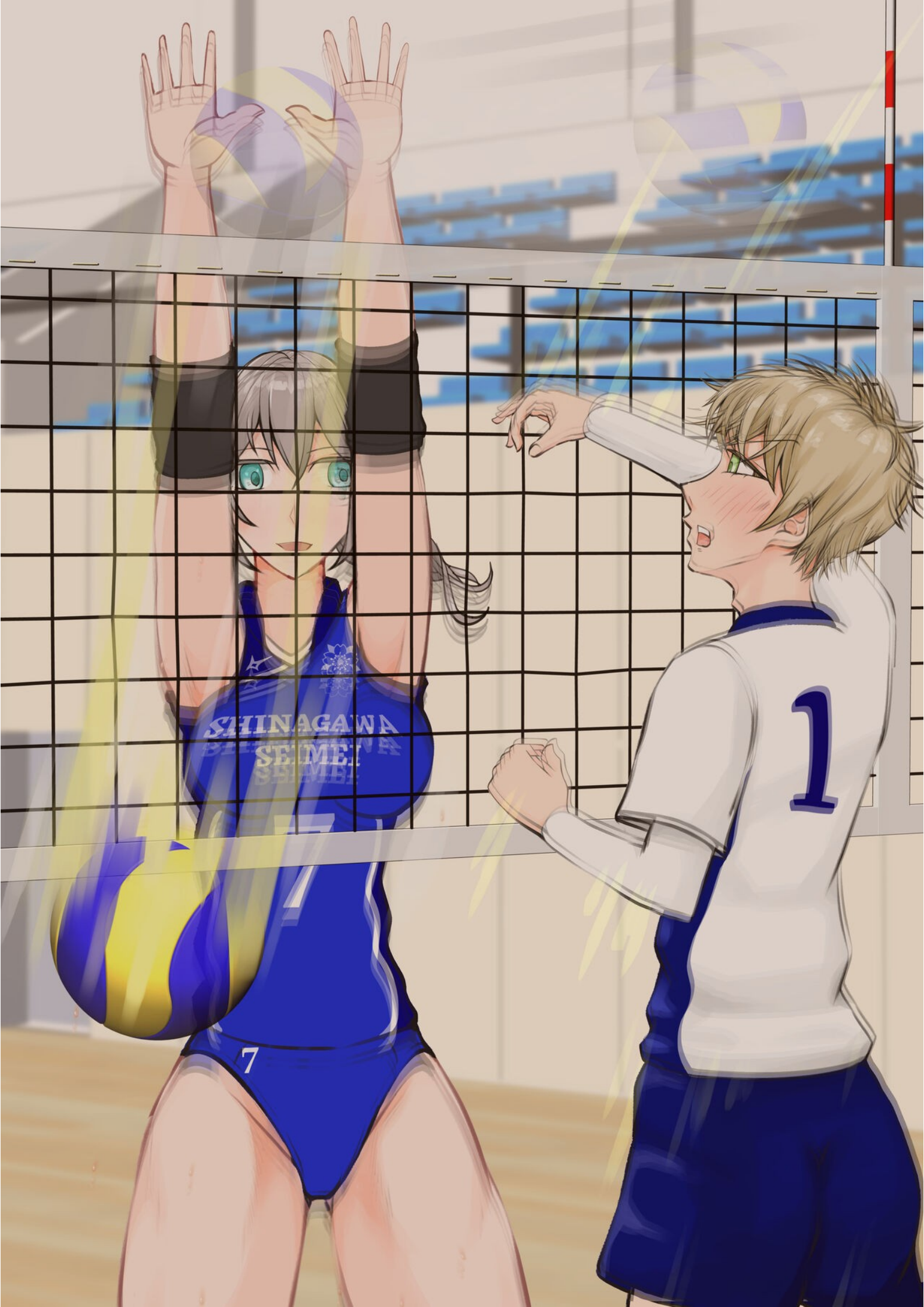
はこ...

失われたあの世界での続きを求めるように
俺は『聖布(ブルマー)』を味わった
もちろん聖水も上手に飲めるようにならなければ...

終









SHINAGAWA
SEIMEI

7

7

SHINAGAWA
SEIMEI

4

1



















